
第1日 11月2日(金) 13:00~15:30

受付開始 12:00

午後の部会 (13:00~15:30)

部会1 「経済と安全保障の連関」

司会 大矢根聡 (同志社大学)

報告 金ゼンマ (明治大学) 「FTA/TPPをめぐる経済と安全保障のネクサス」

藤田泰昌 (長崎大学) 「安全保障要因はFTAへの態度を左右するか」

富田晃正 (埼玉大学) 「アメリカ対外経済政策をめぐる外交利益と経済利益の緊張」

討論 清水一史 (九州大学)

武田康裕 (防衛大学校)

部会2 「キリスト教民主主義と欧州政治——歴史的な考察を踏まえての再検討」

司会・討論 小川有美 (立教大学)

報告 宮下雄一郎 (法政大学) 「ロベール・シューマンの国際秩序観」

板橋拓巳 (成蹊大学) 「ヴァルター・ハルシュタインの戦後秩序構想」

松本佐保 (名古屋市立大学) 「キリスト教民主主義と第二バチカン公会議——世界教会協議会
WCC との関係を中心に」

討論 上原良子 (フェリス女学院大学)

部会3 「アジアから見た国際連盟——設立100周年に向けた国際連盟史の再検討」

司会 篠原初枝 (早稲田大学)

報告 詫摩佳代 (首都大学東京) 「国際連盟シンガポール伝染病情報局とアジアの地域秩序」

高橋力也 (日本大学) 「国際連盟における国際法典編纂事業と日本」

齋川貴嗣 (高崎経済大学) 「国際連盟の知的協力事業と日本・中国」

討論 後藤春美 (東京大学)

等松春夫 (防衛大学校)

部会4 「グローバル・ガバナンス論の最前線」

司会 福田耕治 (早稲田大学)

報告 土屋大洋 (慶應義塾大学) 「サイバースペースのグローバル・ガバナンス」

西谷真規子 (神戸大学) 「腐敗防止をめぐるグローバル・ガバナンス」

渡邊智明 (九州大学) 「気候変動めぐるグローバル・ガバナンス」

討論 山田高敬 (名古屋大学)

太田 宏 (早稲田大学)

分科会セッション A (15:45~17:15) 別掲

分科会セッション B (17:30~19:30) 別掲

第2日 11月3日(土)

受付開始 9:00

午前の部会 (9:30~12:00)

部会5 日韓合同部会 **“Democracy and Diplomacy in North-East Asia: From National and Global Perspective”** 【英語で実施】

Chair: Takuya Sasaki (President, JAIR/ Rikkyo University)

Speakers: Dongmin Lee (Dankook University) “Political Leadership and Korean Foreign Policy.”

Ji Young Kim (Hanyang University) “Rethinking the Role of Identity Factors: The History Problem and the Japan-South Korea Security Relationship in the Post-Cold War Period.”

Hidekazu Wakatsuki (Hokkai-Gakuen University) “Japan-China Relations in the 1980s: Focusing on Politics in Japan”

Discussants: Chieko Otsuru-Kitagawa (Kansai University)

Ryo Oshiba (Aoyama Gakuin University)

部会6 「第一次世界大戦とその遺産——第一次大戦終結100周年」

司会・討論 木畑洋一 (東京大学)

報告 大久保明 (日本大学) 「第一次世界大戦後イギリスのヨーロッパ安全保障政策」

麻田雅文 (岩手大学) 「ソ連承認をめぐる国際政治 1920~30年代」

森 靖夫 (同志社大学) 「英米から見た日本の総力戦体制の形成」

討論 中谷直司 (三重大学)

部会7 「地政学の台頭?——国際政治学の視点から」

司会 高橋良輔 (青山学院大学)

報告 渡邊公太 (帝京大学) 「地理から見た国家の本質——N. スパイクマンにおける拡張と防衛の論理」

柴田陽一 (摂南大学) 「帝国日本における地政学の受容と展開——科学性と実践性のはざままで」

春名展生 (東京外国語大学) 「国際政治学の成立と地政学の受容——小野塚喜平次とルドルフ・チェレーンの邂逅を起点として」

討論 土佐弘之 (神戸大学)

福田 宏 (成城大学)

部会8 「国際政治学における『イズム』思考の再検討」 (ラウンドテーブル)

司会 湯川 拓 (大阪大学)
報告 土山實男 (青山学院大学)
宮岡 勲 (慶應義塾大学)
光辻克馬 (東京大学)
籠谷公司 (大阪経済大学)

部会9 「保護する実践と統治の現実——コミュニティ・都市・自治」

司会 酒井啓子 (千葉大学)
報告 西山隆行 (成蹊大学) 「アメリカの聖域都市と不法移民問題」
明石純一 (筑波大学) 「難民の保護とその実質化の過程——日本の第三国定住難民の受入れを事例として」
堀井里子 (国際教養大学) 「EU 国境管理ガバナンスにおける NGO の役割——地中海での捜索救難活動を事例として」
討論 上野友也 (岐阜大学)
中山裕美 (東京外国語大学)

分科会セッション C (13:30~15:10) 別掲

総会 (15:10~15:30)

【共通論題】「現代日本外交の30年」 (15:30~18:20)

司会 宮城大蔵 (上智大学)
報告 我部政明 (琉球大学) 「安全保障の観点を中心に」
大庭三枝 (東京理科大学) 「地域主義・アジアの観点を中心に」
鈴木一人 (北海道大学) 「グローバル・ガバナンスの観点を中心に」
討論 古城佳子 (東京大学)
坂元一哉 (大阪大学)

懇親会 19:00~20:30

第3日 11月4日 (日)

受付開始 9:00

分科会セッション D (9:30~11:00) 別掲

分科会セッション E (11:15~12:45) 別掲

午後の部会（14:00～16:30）

部会 10 「方法の進展とその達成——通説の修正という観点から」

司会 石黒 馨（神戸大学）

報告 多湖 淳（早稲田大学）「国連決議の対世論説得効果の研究——実験が示す既存研究の問題点」

阪本拓人（東京大学）「脅威認識の形成と変容——自然言語処理による可測化と理論検証」

大石晃史（国立情報学研究所）「紛争下の離合集散に構造はあるか——ネットワーク分析」

討論 山本吉宣（新潟県立大学）

松村尚子（神戸大学）

部会 11 「朝鮮半島安全保障構造の起源と展開」

司会・討論 平岩俊司（南山大学）

報告 朴 正鎮（津田塾大学）「1970年代北朝鮮の安全保障認識」

伊藤弘太郎（キヤノングローバル戦略研究所）「韓国自主国防の起源と展開」

劉 仙姫（帝塚山大学）「1970年代のベトナム戦争の展開と韓国」

討論 阪田恭代（神田外語大学）

部会 12 「中国の Sharp Power と東アジアの市民社会」

司会 三宅康之（関西学院大学）

報告 鈴木 隆（愛知県立大学）「習近平時代における中国共産党の統一戦線政策」

倉田 徹（立教大学）「Sharp Power から Hard Power へ？——香港に見る Sharp Power の効果と限界」

渡辺 剛（杏林大学）「中国シャープパワー攻勢下における台湾国民意識の形成と動揺」

討論 佐橋 亮（神奈川大学）

阿古智子（東京大学）

部会 13 「『分断』を再考する」（市民講座を兼ねる）

司会 竹中千春（立教大学）

報告 塩原良和（慶應義塾大学）「分断する社会の諸相——日本とオーストラリアを中心に」

錦田愛子（東京外国語大学）「離散により乗り越える分断——パレスチナ人の再難民化と国民国家」

土谷岳史（高崎経済大学）「EUにおけるロマ——『包摂』と『分断』の境界」

討論 正躰朝香（京都産業大学）

杉木明子（慶應義塾大学）

部会 14 「主権と人権の相克」（自由論題部会）

司会・討論 篠田英朗（東京外国語大学）

報告 秋山 肇（日本学術振興会）「無国籍の予防と国家秩序——英国学派を手がかりに」

澤田眞治（防衛大学校）「ブラジル外交における『保護する間の責任』」

宮下大夢（早稲田大学）「ロヒンギャ問題への対応に関する比較分析——外部アクターによる政治的圧力と建設的関与に着目して」

討論 佐藤 誠（立命館大学）